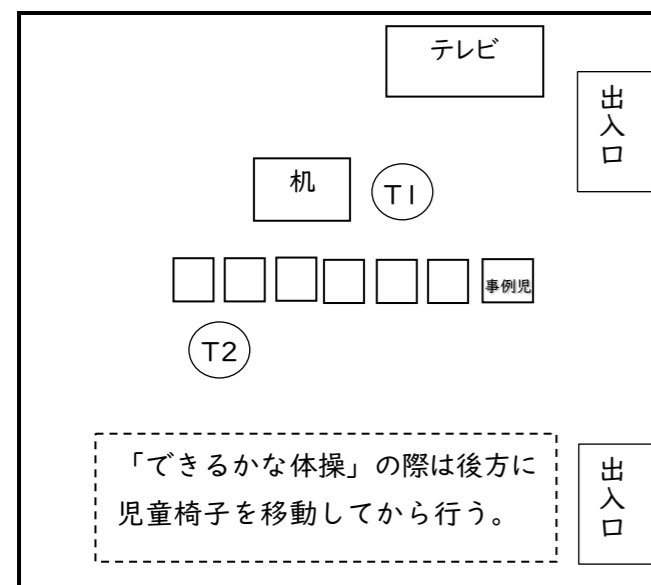


授業づくりシート

領域名 自立活動 | 学年 1

テーマ	「声を出そう」	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・口形模倣をすることができるようになってきている。(環境の把握、コミュニケーション) ・呼名されると「あ。」と返事をするすることができる。(環境の把握、コミュニケーション) ・教師の模倣をして「べー」と舌を出すことができる。(身体の動き) ・口を開けていることが多いが、言葉かけを受けて口を閉じることができる。(身体の動き) ・がらがらうがいは難しいが、ぶくぶくうがいをすることができる。(身体の動き) ・鶏肉や魚などの好きな物を、少量口に入れて咀嚼し一度に飲み込むことができる。咀嚼時は口を閉じて行うことができる。(身体の動き) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舌を上下左右に動かすことができる。(環境の把握、身体の動き) ・「はい。」とはっきり口を動かして返事をするすることができる。(コミュニケーション) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
顔の体操	<ul style="list-style-type: none"> ・舌を上下左右に動かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を動かしている写真を見せたり、目の前で手本を示したりする。 ・鏡を見て、自分の舌の動きがわかるようにする。 ・好きな手遊び歌の歌詞を替え、楽しく歌いながら取り組むことができるようにする。
呼名	<ul style="list-style-type: none"> ・呼名の際に「はい。」と返事をする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前で「は」「い」の口形を見せながら、はっきりと発音する。 ・「あ」や「い」などの母音の口形の練習を行い、返事につながるようにする。

○場の配置



○教材教具等

- 顔の体操の写真
 - ・「むすんでひらいて」の手遊び歌に合わせて、口を閉じたり開いたり、舌を出したりしている教師の顔写真をめくっていく。
- あいうえおの文字とイラストカード
 - ・「手を叩きましょう」の歌に合わせて、母音をはっきり言う活動に取り組む。その際、楽しさから自発的に大きな声を出すことができるように、写真ではなく子どもが笑いながら口を開けているイラストを使用する。
(「あはは」「いひひ」「うふふ」「えへへ」「おほほ」)

○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	<ul style="list-style-type: none"> ○始めの挨拶 ○顔の体操 <ul style="list-style-type: none"> ・「むすんでひらいて」の手遊び歌に合わせて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の顔写真を示し、注目して模倣できるようにする。 ・手遊び歌に合わせて行い、楽しく取り組めるようにする。 ・一緒に鏡を見て、手本と見比べながら自分の口形や舌の動きを意識することができるようにする。
9:55	<ul style="list-style-type: none"> ○呼名 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の呼名に対して、返事をする。 ・「は」「い」と一音ずつ口形をはっきりつくる、「はーい」と伸ばす、大きな声を出すなど、児童それぞれのねらいに応じた声の出し方をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がはっきりと口を動かし、手本を示す。 ・エコーマイクやボイスチェンジャーを使って、声を出したい気持ちをもつことができるようにする。
9:58	<ul style="list-style-type: none"> ○発声練習 <ul style="list-style-type: none"> ・「手を叩きましょう」の手遊び歌に合わせて、母音を大きくはっきり言う。 ・「おはなしゆびさん」の手遊び歌に合わせて、動物の鳴き声の真似をしながら一音を発声する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あはは。」の時はお腹を押さえる、「うふふ。」の時は頬を触るなど、身振りをつけることで似ている口形でも発声する音が違うことを意識させる。 ・動物のペープサートを動かすことで、鳴き声から発音する音に分かるようにする。(豚は「ブー。」、カラスは「カー。」、鳩は「ポッ。」など)
10:05	<ul style="list-style-type: none"> ○できるかな体操 <ul style="list-style-type: none"> ・後方に椅子を移動する。 ・映像に合わせて動物の動きを真似して身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの実態から、集中力が切れてきた後半に身体を動かす活動を設定する。
10:10	○終わりの挨拶	

○成果と課題

- 手遊び歌が好きな児童が多いことから、活動にたくさん取り入れた。児童が自分から発声したり、笑顔で取り組んだりする姿がたくさん見られた。
- 繰り返し手本に注目させることで、舌を大きく出すことができるようになった。
- 繰り返し行うことで、少しずつはっきりと発音できる音が増えてきた。「は」「い」の2音は大きく口を動かしながら発音することができた。
- △全体の活動の中で楽しみながら取り組むことができたが、個別指導の機会が十分に確保できなかったため、一人一人の課題に応じた指導の時間を設定する工夫があるとよかった。